

京都市の学校教育の重点
「伝統と文化を受継ぎ、
次代と自らの未来を創造する子ども像」

令和5年度 京都市立桂川小学校 学校教育グランドデザイン

学校教育目標

「自ら学び、心豊かに仲間と未来を拓く子」の育成

目指す子ども像

- Ⓐ 感謝する子、感謝される子
- Ⓑ つよく、しなやかな心と体の子
- Ⓐ らしさを認め、つながりを大切にする子
- Ⓐ 学習に自ら取り組む子
- Ⓑ わかるように伝え合う子

目指す教職員像 『全ての教職員が働きやすい職場を作り、働き方改革を進める』

- ・想像力と創造力を持つ教職員
- ・子どもの見本となる教職員
- ・常に子どもの気持ちに寄り添える教職員
- ・ONE TEAMを目指す教職員
- ・気持ちの良い環境づくりを目指す教職員
- ・当事者意識を持つ教職員

本年度の桂川小学校の目指す学校像 子どもがいきいきと活動し、笑顔で溢れる学校を目指して

主体的・対話的で深い学びの実現

- ・試行錯誤を繰り返しながら、問題解決を目指す
- ・誰一人取り残さない学校づくり
- ・確かな学力を身につけた自己決定のある授業
- ・豊かな感覚で自他の存在を大切にする心の育成
- ・日々の授業と家庭学習を連動した、自学自習の
- ・共感的な人間関係を作り支え合う仲間づくり

習慣化

- ・「難しいけど、面白くて、楽しい」学習を創造する
- ・論理的な思考が身につくことで、論理の可視化につながる
- ・自分の考えを筋道立てて説明し、客観的に捉える力を育む

生徒指導の三機能を意識した学校・学年・学級作りの実現

- ・豊かな感覚で自他の存在を大切にする心の育成
- ・共感的な人間関係を作り支え合う仲間づくり
- ・誰一人取り残さない学校づくり
- ・確かな学力を身につけた自己決定のある授業
- ・共感的な人間関係を作り支え合う仲間づくり



- ・子どもの良さを見取り、それぞれの子どもの可能性を広げることができる教職員を目指す
- ・落ち着いた学校生活が、安定した学びに向かう姿を生む
- ・子どもを複数の目で見て育てることで、よさや可能性を伸ばす
- ・多様な児童に対する見立てとアセスメントを充実させる

ONE TEAMを目指した学校づくり

- ・大人が見本となる学校づくり
- ・すべての教職員が働きやすい職場づくり
- ・当事者意識をもった真の学校教育改革
- ・気持ちの良い学校の環境づくり



- ・見本となる大人がやり続けることで、子どもへの取組が浸透する
- ・桂川スタンダードを基本に、共通理解を超えた共通実践を目指す
- ・大胆に改革して、頑固に守り、真の学校教育の改革につなげる
- ・教職員が協働することで、エネルギーに見合う効果・成果を生む